

多彩な映像表示 × 直感操作で 空間演出をもっと自由に、もっとスマートに ATEN ビデオウォールプロセッサー



導入先

シャープ株式会社 **SHARP**

構築

シャープマーケティングジャパン株式会社

導入製品

VW3620 / VE8662

活用シーン

多目的ホール LEDディスプレイシステム

シャープ株式会社は、主に電気通信機器・電気機器および電子応用機器全般、ならびに電子部品の製造・販売を行っています。2026年に大阪市中央区へ移転した本社では、会議だけでなく、重要な式典など社外の方を招くイベントにも対応できる多目的ホールが設けられました。このホールでは、会議やイベントを運営しやすくするため、映像・音響設備を一元的に制御できるシステムを導入しています。その中で、複数のディスプレイを組み合わせた大画面(ビデオウォール)への映像表示を担っているのが、ATENのビデオウォールプロセッサー「VW3620」です。システムの検討は2025年10月頃に始まり、2026年4月に運用を開始しました。専門知識がない人でも直感的に操作できる環境を整えたことで、各部門が自らホールを活用できる体制が実現しています。本事例では、導入の背景や効果について、ご担当者様にお話を伺いました。

取材のご協力

シャープ株式会社 人事総務統轄部 時政様 畠山様

Q. ATEN製品導入前の課題を教えてください。

移転前の本社でも他社製の機器を使い、複数のディスプレイを組み合わせた大画面(ビデオウォール)に映像を表示していました。しかし安定して運用するには一定の知識が必要で、操作できる担当者が限られていました。また設備を段階的に増やしてきたため構成が複雑になり、操作手順も煩雑になっていました。加えて、ビデオウォールの映像表示に使っていた機器はOSに依存していたため、決められた手順どおりに操作しないとトラブルにつながるがありました。例えば利用者が正しい手順を踏まずに電源を切ると、機器が故障するなどのリスクがありました。多目的ホールは特定の部署だけでなく、さまざまな部門が会議やイベントで使う施設です。操作に慣れていない人が使う場面も多く、こうしたリスクを抱えたままでは安心して運用できませんでした。そこで新本社への移転を機に設備を入れ替え、誰でもスムーズに安心して使えるシンプルな運用を目指しました。

Q. 製品選定で重視したポイントを教えてください。

今回のシステム検討で重視したのは、単に設備を高機能化することよりも、より多くの従業員が安心して使えることでした。具体的には次の3点を主な要件としました。

- ・専門知識がなくても、直感的に操作できること
- ・電源を切る前のシャットダウン操作が不要で、電源の入り切りだけで運用できること
- ・不特定多数の人が使っても、安定して運用できること

VW3620は、接続されているディスプレイに、どの映像をどのように映すかを、Web GUIの画面上で直感的に設定できます。専門知識がなくても、画面を見ながら表示する映像やレイアウトを切り替えられる点を評価しました。また、FPGA駆動の専用機なので、電源スイッチの入り切りだけで運用できます。万が一、利用者が途中で電源を切ってしまうても故障の心配が少なく、以前のように電源を切る前のシャットダウン操作を気にする必要がありません。安定して運用できることも大きな決め手になりました。

VW3620が選ばれた3つの理由

01

直感的なWeb GUIで、
誰でも簡単に操作

02

FPGA駆動で、
電源の入り切りだけで運用

03

多彩な表示で、
効果的な空間演出が簡単に



▲左から畠山様、時政様



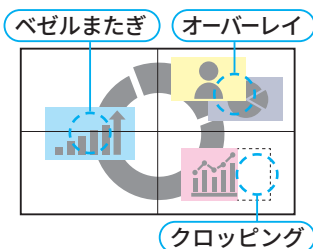
▲多目的ホールのビデオウォール

導入製品



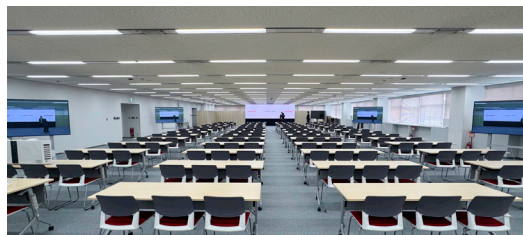
VW3620 4K 対応 HDMI ビデオウォールプロセッサ

- ✓ Web GUI による直感的で簡単な映像管理。
(追加ソフト・PC 不要)
- ✓ ベゼルに制限されない柔軟なレイアウトを実現。
ロゴやスクロールテキスト、注釈メモを
カスタマイズできるため、活用の幅が広がります。



VE8662 True 4K HDMI H.265 over IP トランシーバー (PoE 対応)

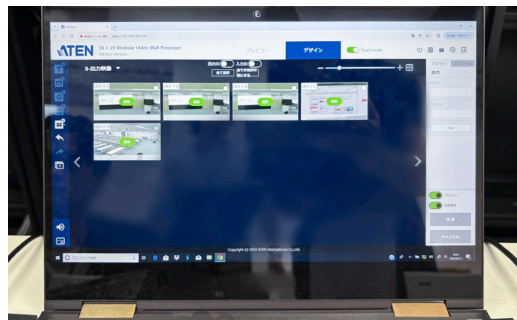
- ✓ 複数のサブモニターに映像を
分配することで、広い多目的
ホールのどの席からも資料が
見えやすくなり、情報伝達を
スムーズに行えます。



▲バックヤードのサーバーラック

Q. 導入後の効果を教えてください。

操作のしやすさに対する評価が高く、移転前の本社での利用者からも「以前と比べて使いやすくなった」という声が寄せられています。その結果、特定担当者による常時サポートは大幅に減少し、各部門が自らホールを運営できる場面が増えました。会議やイベントの準備も円滑になり、利用者にとっては操作への心理的なハードルが下がり、総務部門にとっても運用負荷の軽減につながっています。これにより多目的ホールは、限られた担当者が管理する設備から、誰もが安心して使える設備へと変わりました。各部門によるホールの自主的な活用が進み、会議・イベントの開催機会拡大にもつながっています。

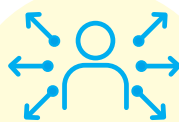


▲実際の操作画面



操作性の向上

直感的にわかりやすい
操作画面



運用負荷の軽減

特定担当者への
依存の解消



安心して使える

安定したシステム運用、
トラブルリスクの低減

Q. 導入時のサポート面はいかがでしたでしょうか。

ATENの拠点が大阪にあり、比較的頻繁にやり取りできたことは、導入を進めるうえで安心材料となりました。必要な確認事項が発生した際にもすぐに連絡を取りやすく、関係者間の調整もスムーズに進めることができました。また、本社システム部門との連携においても、ATEN側で必要な調整を行いながら進捗したことで、導入までの流れを円滑に進めることができました。導入後も、追加の要望や改善事項に対して継続的に対応しており、より使いやすい運用環境に向けた改善が進められています。



Web サイト
<https://www.aten.com/jp/ja/>

入って安心！
製品保証延長
オプション



・掲載されている商品名・会社名等は、
各社の商標並びに登録商標です。
・掲載した商品の仕様等は予告なしに
変更する場合があります。

お問い合わせ・ご用命はこちらまで
お申し付けください

ATEN
ATEN ジャパン株式会社

東京本社
〒116-0003
東京都荒川区南千住 3-8-4 ATEN ビル
TEL : 03-5615-5810 FAX : 03-3891-3810
Email : sales@atenjapan.jp

東京支社	九州営業所	広島営業所
大阪支社	名古屋営業所	仙台営業所
札幌営業所	その他支店情報については 右記QRコードからご覧いただけます。	

